

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報（カルテの情報）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>試料・情報の利用 目的及び利用方 法</p>	<p>研究の名称 「大腸がん肺転移に対する根治を目指した肺転移切除術 の評価方法の検討」</p> <p>研究の対象 2010年4月から浜松医科大学医学部附属病院呼吸器外 科で大腸がんの転移性肺腫瘍に対して手術を受けられた 方</p> <p>研究の目的 転移性肺腫瘍に対する肺切除術は標準治療の一つとして 行われている。その治療成績は全生存（5年生存率など） で示されることがほとんどである。肺転移に対する肺切除 術は基本的に根治を目指して行われるもので有り、根治が 得られなくても全身化学療法にて長期生存が得られる場 合もあり、手術の有効性を示すにはよりよい指標が必要で ある。今回根治不能な再発までの生存（Time to incurable recurrence）という指標が大腸癌肺転移切除例において有 効か否かを転移性肺腫瘍研究会データベースをもちいて 検証するという目的で本研究を計画した。</p> <p>研究の期間 2019年07月より2019年9月まで</p> <p>他の機関に提供する場合には、その方法 各施設の患者データは匿名化されて栃木県立がんセンタ ーに送られ解析される。</p>
<p>利用し、又は提供 する試料・情報の 項目</p>	<p>研究に使用する試料・情報： カルテ等から収集した様々な情報（年齢、性別、原発巣の 種類、病期、治療内容、肺転移病巣の個数、サイズや部位 などの情報、肺転移に対する術式、併用された治療、合併 症、再発時の状態等、再発に対する治療、最終的な再発の 有無、生死の情報、など）</p>

人を対象とする医学系研究に関する情報公開文書

<p>利用する者の範囲</p>	<p>共同研究機関の名称及び研究責任者 松隈治久 栃木県立がんセンター 呼吸器外科 ほか</p>
<p>試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称</p>	<p>研究責任者 浜松医科大学 外科学第一講座 呼吸器外科 准教授 船井和仁</p>
<p>試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）</p>	<p>あなたの情報を研究に使用することや、あなたの情報を他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、問い合わせ先に記載のある電話もしくはメールでお願いします。</p>
<p>資料の入手または閲覧</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>情報の開示</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示致しません。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>〒431-3192 浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学医学部附属病院 診療科：外科学第一講座 呼吸器外科 担当者：川瀬 晃和 TEL：053-435-2276 FAX：053-435-2272 E-mail：akawase@hama-med.ac.jp</p>